

1 基本情報

施設名称	天王寺スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	令和 6 年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.3%
達成率		112.9%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	100.0%	100.0%	0.0%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.4%	98.0%	0.4%

利用状況（多目的 1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.5%	95.3%	-1.8%

利用状況（多目的 2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	36,013,242	42,000,800	184,242	従来の業務代行料に加え、キャッシュレス決裁補填金分の代行料が追
	計画	35,829,000	41,586,000		
利用料金収入	実績	9,851,080	9,868,980	3,801,080	計画時に事業教室開催費用の売上計上を見込んでおらず、前年同様の実績であったが、差異が生じた。
	計画	6,050,000	9,980,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	38,550,366	35,473,128	3,931,386	当初計画していた営業施策の前倒しによる収入増
	計画	34,618,980	26,925,110		
合計	実績	84,414,688	87,342,908	7,916,708	
	計画	76,497,980	78,491,110		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	25,255,102	25,265,108	9,421,254	人材確保および育成に投資にする費用が真田山プールと合わせて当初計画より増となった。
	計画	15,833,848	23,600,000		
物件費	実績	43,857,843	41,067,036	2,665,421	当初計画よりもエネルギーコストの高騰による差異
	計画	41,192,422	38,097,810		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	25,963,493	25,240,089	6,491,782	売上増にともなう委託料等の増額により、真田山プールと合わせて当初計画よりも増となった。
	計画	19,471,711	16,793,300		
合計	実績	95,076,438	91,572,233	18,578,457	
	計画	76,497,981	78,491,110		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	112.9%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・体育館の照明、空調のON/OFFの調整をこまめに実施、未使用時にはOFFを徹底した。 ・備品、消耗品発注の際は最低ロットを守り、必要最小限の経費で済むよう管理し購入した。 ・修繕については、毎月ミーティングで優先順位と修繕方法を吟味しコストダウンとともに快適な施設づくりに努めた。また設備故障等については、必ず相見積を取り価格交渉を行いコスト削減に努めた。 ・人員配置は適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めた。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、利用者の迷惑につながらないように努めた。

・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。

・AI翻訳機を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。

・貸館の空き状況を館内掲示し、利用促進に努めるとともに利用者の利便性を図った。

・館外敷地エリアにおけるスケートボード利用に対する近隣住民からの苦情。

→現在設置のスケボ滑走防止のバリカーを増設し対策を強化した。

・タトゥーが入った方や露出した水着着用で入場されている方を何とかしてほしい

→「刺青」や「タトゥー」の入った方の利用につきましては、ラッシュガードやサポーターを着用していただくなどしてを隠すようお願いを徹底した。「露出度の高い水着」を着用されている方に対しては、他の水着にお着換えいただくよう注意するが、別途水着をお持ちでない場合は、プールサイド移動時ではタオル等で覆っていただくようお願いした。

6 外部専門家意見

施設利用状況については、ほぼ空きの無い状況が継続されており、施設運営が順調であることが伺える。

収支状況については、収入が計画を上回っているものの、それ以上に支出が計画を大幅に上回っており結果として今年度も赤字となっており、収支の改善が必要である。昨今の光熱水費の増加が想定を超えた上昇率であったものと思われるが、民間事業者に期待されている収益性の向上を図ることで収支改善につなげていただきたい。

昨年の意見にもあるが新規事業が実施されていないのはいかがなものか。稼働率が高い状況かつ、人件費や光熱費の削減は難しいと考えられる。しかし、利用者数の少なかった事業の原因分析や自販機の商品の見直しによる回転率の向上といった工夫でさらなる収益性の向上を図っていただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		A	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	城東スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	令和 6 年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.3%
達成率		109.1%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.9%	99.8%	0.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.1%	0.7%

利用状況（多目的 1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	84.1%	86.7%	-2.6%

利用状況（多目的 2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的 3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	39,541,000	29,454,530	0	
	計画	39,541,000	29,454,530		
利用料金収入	実績	9,496,430	9,530,920	2,936,030	計画時に事業教室開催費用の売上計上を見込んでおらず、前年同様の実績であったが、差異が生じた。
	計画	6,560,400	6,292,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	24,228,563	24,454,463	-10,729,987	計画していた営業施策を実施するも当初計画よりも成果達成がで きず、計画未達となった。
	計画	34,958,550	29,771,000		
合計	実績	73,265,993	63,439,913	-7,793,957	
	計画	81,059,950	65,517,530		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	22,256,984	22,033,958	-768,146	日常作業の効率化（削減）及び、人員配置シフトを見直し等を行 ったことで、利用者サービスを低下させることなく費用を抑え ることができた。
	計画	23,025,130	21,131,000		
物件費	実績	29,991,771	27,558,455	-4,217,984	永光熱費およびシステム導入に伴う費用が当初計画よりも減少
	計画	34,209,755	29,657,530		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	15,948,086	19,560,021	-7,876,979	売上減にともなう費用減
	計画	23,825,065	14,729,000		
合計	実績	68,196,841	69,152,434	-12,863,109	
	計画	81,059,950	65,517,530		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	109.1%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・前年から実施している館内の空調温度を25℃に設定し、ON/OFFをこまめに実施することで節電に努めた。 ・館内の消耗品（ペーパー等）設置数を削減し、費用削減及び、スタッフの作業効率化を行った。 ・修繕については、項目ごとに優先順位をつけるとともに、修理の際は必ず相見積を取りコスト削減に努めた。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・ご意見ご要望は、直接ご返答、あるいはメールによるお問い合わせへの返答は速やかに対応している。また、簡易な修繕については、当社スタッフで対応し、できるだけ早く使用できる状態にするようにしている。

・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。

・AI翻訳機を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。

・駐車場満車時、出入り口前道路に駐車待ち車が停滞し、近隣住民さまからご指摘いただいた。

→当館の複合施設クレオ大阪東と連携し、看板設置、スタッフ巡回及び混雑が予想される土日利用者へ車利用をお控えいただくことの協力を呼びかけし対応している。

6 外部専門家意見

昨年度から引き続き高い施設稼働率を維持しており、収支状況について昨年度の赤字から黒字へと転換できたことは大いに評価できる。しかしながら、計画値と比較すると収入について大きく下回っており、収入を計画値へと増加させるため、積極的な新規事業開発、新規利用者の獲得に取り組んでいただきたい。光熱水費が高騰している状況の中、適切な温度管理やこまめなオンオフを行い使用量及び金額を抑えるなどの施設運営における経営努力の結果であると評価する。

次年度は、新規顧客の獲得などに期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	生野スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	令和 6 年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		76.0%
達成率		95.0%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.1%	99.4%	-0.3%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	91.3%	96.2%	-4.9%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	30,245,000	23,707,340	0	
	計画	30,245,000	22,014,720		
利用料金収入	実績	3,879,430	4,055,100	-1,677,770	第2体育場の15時、18時枠の稼働率が80%台と低いため
	計画	5,557,200	5,375,480		
その他収入 (自主事業収入)	実績	9,246,082	8,473,947	-180,125	スポーツ教室の赤字運営
	計画	9,426,207	8,058,000		
合計	実績	43,370,512	36,236,387	-1,857,895	
	計画	45,228,407	35,448,200		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	23,454,484	14,558,126	574,794	業務の内製化により人件費増
	計画	22,879,690	16,488,000		
物件費	実績	16,520,504	13,007,457	669,372	光熱水費の特に電気代が大幅増
	計画	15,851,132	14,083,200		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	6,850,623	7,465,334	353,038	スポーツ教室の登録者増により講師料が増加
	計画	6,497,585	4,877,000		
合計	実績	46,825,611	35,030,917	1,597,204	
	計画	45,228,407	35,448,200		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	95.0%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品については、担当者を配置し、案件ごとに管理表を作成。無駄な消耗品購入や過剰な購入が無いよう努めた。 ・修繕については、2ヶ月に1回の修繕会議を行い、情報の共有と迅速な不具合改修に努めた。 ・トイレやロッカールームについては、節電の協力(電源のON/OFF)を呼びかけ、使用中以外は消灯を実施した。 ・空調については、エリアを分けてON/OFFの実施を行った。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・ご意見ご要望は、可能な限り24時間以内に第一報を入れるようにしている。

・歴史のあるスポーツセンターのため、館内の整理整頓と清掃の徹底を実施している。来年度も継続して実施する。

・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。

・AI翻訳機を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。

・館内がトイレ臭い、下水の臭いがするとのことのご意見が多数あった。

→立ち上げや立ち下げ時、営業中の巡回時に便器や排水溝に水を流して、異臭がしないよう処置している。

6 外部専門家意見

令和6年度から指定管理者の変更があり、前指定管理者からの移行など大幅な体制の変更などができなかったということは一定理解できるものの、前年度の黒字から赤字への転換や稼働率が減少したことは反省する必要がある。施設の利用状況について、高い水準を保っているが時間帯によって利用率が低下しているとのことで、利用率向上に取り組むとともに、経費削減に努め赤字脱却をめざしていただきたい。

施設の利用状況が約90%以上と高いながらも、利用者満足度が目標値を達成できていないため、原因を分析し次年度は目標達成できるよう取り組む必要がある。魅力的な事業の実施など利用者満足度の向上に努めつつ、潜在ニーズの掘り起こしに尽力していただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	真田山プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		78.6%
達成率		98.3%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.6%
達成率		108.3%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		94.7%
達成率		118.4%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	100,859	91,894	8,965
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	36,080	39,723	-3,643
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	24,700	21,562	3,138
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	14,092	15,564	-1,472
稼働率			

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	183,227,400	168,003,201	858,400	従来の業務代行料にくわえ、プール可動床費用分の代行料が追加され、差異が生じた。
	計画	182,369,000	168,418,000		
利用料金収入	実績	60,286,930	57,652,625	19,586,930	計画時に事業教室開催費用の売上計上を見込んでおらず、前年同様の実績であったが、差異が生じた。
	計画	40,700,000	64,444,720		
その他収入 (自主事業収入)	実績	63,473,616	57,933,389	-16,793,563	計画時に事業教室開催費用の売上計上をその他収入に計上する計画をしていたが、従来どおり利用料金収入に計上したため、差異が生じた。
	計画	80,267,179	66,313,270		
合計	実績	306,987,946	283,589,215	3,651,767	
	計画	303,336,179	299,175,990		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	58,038,690	53,788,322	-5,296,701	計画時に策定した試算方法(天王寺スポーツセンターとの按分比の変更)にて計上予定であったが、前年同様の按分比にて計上した為、計画差が生じた。
	計画	63,335,391	61,718,000		
物件費	実績	226,237,789	210,486,617	5,994,712	当初計画よりもエネルギーコストの高騰による差異
	計画	220,243,077	225,012,990		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	10,252,110	9,671,934	-9,505,601	計画時に策定した試算方法(天王寺スポーツセンターとの按分比の変更)にて計上予定であったが、前年同様の按分比にて計上した為、計画差が生じた。
	計画	19,757,711	12,445,000		
合計	実績	294,528,589	273,946,873	-8,807,590	
	計画	303,336,179	299,175,990		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度(プール)	98.3%	B	
利用者満足度(トレーニング室)	108.3%	B	
利用者満足度(アイススケート)	118.4%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・体育館の照明、空調のON/OFFの調整をこまめに実施、未使用時にはOFFを徹底した。 ・備品、消耗品発注の際は最低ロットを守り、必要最小限の経費で済むよう管理し購入した。 ・修繕については、毎月ミーティングで優先順位と修繕方法を吟味しコストダウンとともに快適な施設づくりに努めた。また設備故障等については、必ず相見積を取り価格交渉を行いコスト削減に努めた。 ・人員配置は適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めた。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、利用者の迷惑につながらないように努めた。

・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。

・AI翻訳機を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。

・貸館の空き状況を館内掲示し、利用促進に努めるとともに利用者の利便性を図った。

・館外敷地エリアにおけるスケートボード利用に対する近隣住民からの苦情。

→現在設置のスケボ滑走防止のバリカーを増設し対策を強化した。

・タトゥーが入った方や露出した水着着用で入場されている方を何とかしてほしい

→「刺青」や「タトゥー」の入った方の利用につきましては、ラッシュガードやサポーターを着用していただくなどしてを隠すようお願いを徹底した。「露出度の高い水着」を着用されている方に対しては、他の水着にお着換えいただくよう注意するが、別途水着をお持ちでない場合は、プールサイド移動時ではタオル等で覆っていただくようお願いした。

6 外部専門家意見

屋内プールとトレーニング場での利用者数が昨年より増加しており、その結果利用料金収入の増加にも繋がり収支では黒字を維持しており評価に値する。一方、屋内プールの利用者満足度が目標値を達成できておらず残念である。その結果について、しっかりと分析し、次年度以降の目標達成に向けて取り組む必要がある。

アイススケート場については、昨年度から引き続き気温の上昇による1週間前倒しの営業終了などにより、入場者数も前年を下回っている。少ない稼働日数の中、温暖化の影響を受けやむを得ない面は理解できるが、民間事業者ならではの発想により利用者の向上策を検討していただきたい。

昨年の評価でも同様に述べられている新規事業が無い点について、教室事業等の魅力向上にも力を注ぎ、新規利用者の獲得に努めていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	生野屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	COSPAウエルネス・イオンディライト・パティネレジャー共同事業体
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.4%
達成率		113.0%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		95.1%
達成率		118.9%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	59,056	88,691	-29,635
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	23,873	28,836	-4,963
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	107,070,300	82,789,441	3,391,300	精算金（修繕経費立替金）
	計画	103,679,000	72,218,020		
利用料金収入	実績	28,013,611	28,792,940	-2,075,459	当初計画よりも利用者減で推移したため
	計画	30,089,070	34,159,650		
その他収入 （自主事業収入）	実績	37,501,583	48,046,239	-10,977,733	教室、スクールの在籍計画未達
	計画	48,479,316	40,783,150		
合計	実績	172,585,494	159,628,620	-9,661,892	
	計画	182,247,386	147,160,820		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	65,164,748	56,983,891	-9,165,716	利用者減による配置人数の見直しおよび開業に伴う研修等の育成時間の投資費用減により、当初計画よりもマイナスで推移した
	計画	74,330,464	69,488,000		
物件費 （事務・管理・光熱費）	実績	83,563,598	80,763,656	-13,180,632	システム投資による業務効率化（人員配置の見直しを含む）等により、当初計画よりもマイナスで推移した
	計画	96,744,230	64,432,820		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	12,209,502	30,684,209	1,036,810	教室、スクールの在籍計画未達による委託費減および開業準備費等の投資費用減等による差異
	計画	11,172,692	13,240,000		
合計	実績	160,937,848	168,431,756	-21,309,538	
	計画	182,247,386	147,160,820		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	113.0%	A	
利用者満足度（トレーニング室）	118.9%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・適材適所に人を配置し、安全を最優先に無理無駄の無いシフトコントロールに努めた。 ・館内温度や水温設定のタイマー設定調整することでコスト削減に努めた。 ・館内空調温度を25℃に設定し、使用していない時はこまめにOFFにする事でコスト削減・節電に努めた。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・突発的な故障・不具合以外は、計画修繕を心掛け、故障・不具合を未然に防止し、営業、利用者の迷惑につながらないように努めた。

・ホームページ内に「障がいのある方の施設環境」ページを新設。誘導用ブロック、多目的更衣室や、利用案内を掲載し利便性の向上に努めた。

・AI翻訳機を導入し、増加傾向にある外国人利用者の利便性向上と利用ルール周知に努めた。

・敷地内への無断駐輪・放置駐輪についてのクレーム

→注意喚起の張り紙・エフの貼り付けにて早急に対応した。

6 外部専門家意見

令和 6 年度から指定管理者の変更があり、開場日数は前年度339日に対して今年度305日と減少しているためか屋内プールの利用者が昨年度より大幅に減少している。しかし、経費節減により黒字となっている点について評価できる。光熱水費が高騰している中、温度管理を徹底し光熱費の節減に努めている点も評価できる。支出経費のうち、消耗品費が計画額を大幅に上回っているため説明を求めたい。

施設の立地上、観光客も多く運営について様々な対策や工夫が必要であり、その中での高い利用者満足度を得ている点について評価できる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	